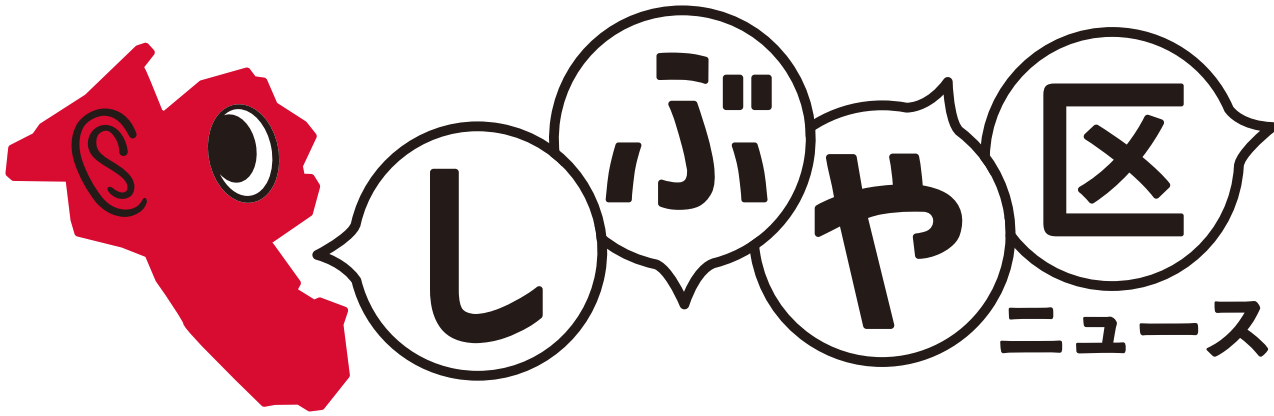


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

平成31年  
(2019年) 3月1日

No.1405



発行 | 渋谷区  
編集 | 広報コミュニケーション課  
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1  
電話 | 03-3463-1211 (代表)  
HP | [www.city.shibuya.tokyo.jp/](http://www.city.shibuya.tokyo.jp/)  
Twitter | @city\_shibuya  
Facebook | @shibuya.city  
Instagram | city\_shibuya\_official



國學院大學陸上競技部の皆さん

もっと速く、もっと強く。  
渋谷区で夢に向かって走る陸上競技部の挑戦。

2	國學院大學で、	4	平成31年 第1回区議会定例会	6	31年度住民税	8	くらしの情報
3	代々受け継がれてきた夢と想い。	5	区長所信表明(抄)ほか	7	(特別区民税・都民税)の申告ほか	11	

★渋谷区役所は1月15日に、新しい庁舎(宇田川町1-1)へ移転しました。



# 國學院大學で、代々受け継がれてきた夢と想い。

渋谷のラジオで出張インタビュー 2019年第95回「東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」で総合7位を獲得した、國學院大學陸上競技部の監督と選手の皆さんにお話を伺いました。



國學院大學 陸上競技部 監督  
まえた やすひろ  
前田康弘さん

強豪校を目指し、歴史の第二章をつくっていきます。



國學院大學 陸上競技部 3年生  
ほらこしよた  
原子翔太さん

練習でも寮生活でも自律の精神を持つようになっています。



國學院大學 陸上競技部 2年生  
とくびたいすけ  
徳備大輔さん



國學院大學 陸上競技部 1年生  
いんお ちたろう  
殿地琢朗さん

渋谷に大学があるのはいいですね。学生生活は充実しています。



國學院大學 陸上競技部 1年生  
きつきりん  
木付 琳さん



▲しづやニュー駅伝で襷を渡す徳備選手(左)



▲國學院大學陸上競技部の練習の様子

—— 2019年正月の第95回箱根駅伝で、國學院大學は総合7位という結果を残し、7年ぶりにシード権を獲得しました。手応えを感じられたと思いますが、この結果をどのように受け止めていますか？

前田：この結果は、大会に出場したメンバーだけで勝ち取ったものではありません。過去に涙を流した卒業生もたくさんいて、彼らが後輩に伝えたことが目に見えない襷として受け継がれてきたから実現できたことだと思います。去年と比べても、試合の内容は良いものでした。この力を持続していくことが私の仕事だと思っています。

原子：今年の箱根駅伝では、チーム全体の空気がとても良かったんです。昨年や一昨年は、試合直前にけがをした人がいたり、風邪をひいてしまう人がいたり、目標を見据えた上でのチーム全体のまとまりが足りなかったように思います。今年はそういうことが全くなく、実際に走る人だけではなく選抜から外れた選手も、それぞれのモチベーションを維持して全員で最後まで頑張ることができたのが、良かったんじゃないかと思います。

徳備：確かに、去年はチームの中でモチベーションに差があった気がしたのですが、今年は一丸となって頑張ることができました。

殿地：僕は8区を走らせていただきました。シード権獲得という結果は素直にうれしかったのですが、往路のメンバーが3位でゴールしたにもかかわらず、復路で順位を落としてしまったのが悔しかったです。まだまだ上の順位を狙える、という実感があり、これからの大きな目標ができました。僕にとっては初めての箱根駅伝だったのでもちろんプレッシャーは感じましたが、先輩や同期にサポートしてもらえたので、安心して走ることができました。

木付：同学年の殿地が選抜された中、僕はサポートだったので、正直なところ複雑な気持ちがありました。殿地や先輩の給水係も担当していて、もちろん「チームのメンバーとして自分のやるべきことはやろう」というモチベーションはあったのですが、やっぱり悔しかったです。だからこそ、「次は選抜されるように頑張ろう」という思いがあります。

前田：箱根駅伝は、レースを走らない選手がチームのことをどれだけ考えられるか、という点が大事なんです。今年は、サポートに回っ

た選手たちも自分のやるべきことをやってくれました。チーム全体の力が発揮されたからこそ、目標を達成することができたのだと思います。

—— 現在、國學院大學陸上競技部には何人くらい所属しているのですか？

前田：今は、50人から60人程度が活動しています。スポーツ推薦で入学する子がほとんどですが、中には夢が変わって退部する学生もいたり、逆に一般入試で入学した学生が夢を持って入部し、箱根駅伝で活躍する場合もあります。

—— 前田監督は、監督に就任してから今年で10年目を迎えるそうですね。

前田：はい、2007年にコーチとして國學院大學に来て2009年に監督になりました。8月でちょうど10年になります。あつという間でした。私は駒澤大学出身で、2000年に箱根駅伝での優勝を経験していますが、もうその年に生まれた学生が入学してきています。当然、私が現役の時とは指導方法も大きく変わっています。

—— 前田監督は、日々の練習やトレーニングで学生を指導する際に、どんなことを重視していますか？

前田：「組織」だけではなく「個」を見るということです。私が現役の時代は、「右にならえ」の考え方で、チーム全体で同じメニューのフィジカルトレーニングをやっていました。でも、本来は選手一人一人に得手、不得手があって、体形や体力も違うわけですから、各自で目標を設定し、個別のトレーニングをする方が効果的なんですよ。チームで共有する大きな目標は箱根駅伝で結果を出すことですが、そこに至るまでのストーリーは部員それぞれが自分の方法で描くということですね。コーチや選手たちと密に意思疎通を図りながら、最良の結果が出せるように努めています。

—— フィジカルトレーニングだけでなく、精神的な面で、選手たちに大切にしてもらいたいことはありますか？

前田：部活の練習だけではなく、日々の生活の中でも、当たり前のことをしっかりとやっていこう、ということは常に伝えています。例えば、規則正しい就寝や起床を心掛ける、などですね。ちょっとしたことの積み重ねが大きな成果につながっていきます。それから、当事者意識を持つことも大事ですね。「やりなさい」と言われたからやるのではなく、今何が必要なのかを自分で考え、行動する、ということです。

—— 日々の生活、という点でいうと、部員の皆さんは寮で共同生活をされているそうですね。オンとオフの区別を意識的につけることも、競技者・学生としての生活の両立も、大変そうですね。

徳備：僕は寮生活が初めてだったということもあって、最初は部活、学校生活、プライベートが一緒になることに悩んだのですが、先輩方が優しくしてくださって、時間がたつにつれて徐々に慣れていきました。陸上中心の生活が当たり前になってきた、という感覚です。

原子：実際のところ、走ることができる時間は一日の中でも限られていて、朝と午後の練習を合わせても3~4時間程度。だから、部員の間などは、練習よりも寮の中で一緒に過ごしている時間の方が長いんです。チームの士気を高めていくためにも、門限や身だしなみなど、最低限のルールはみんなで守るようにしています。

—— 徳備さんは1月20日に開催されたしづやニュー駅伝に「招待の部」で参加されたそうですね。

徳備：はい、去年國學院大學から出場した4年生の先輩のタイムに近づけるよう、練習してきました。本番でも、今出せる力は出し切れたかな、と思います。ただ、後半はペースが落ちてしまったので、自分が乗り越えるべき課題と向き合い、この経験を糧にもっと頑張りたいと思いました。

—— 自主練習で、渋谷の街を走ることはありますか？また、渋谷にキャンパスがある大学ならではの楽しみはありますか？

木付：陸上競技部の寮から渋谷キャンパスまで11kmぐらいあって、ロングジョグをすることもあります。ただ、信号が多いので走りにくい時もあるのですが…(笑)。渋谷に大学があるのはいいですね。僕は大部分の出身ですが、同じように日本全国からいろいろな人が集まっていますから、新しい友達ができ、学生生活は充実しています。

—— 最後に、今後の目標や、これからの大会への意気込みを教えてください。

原子：僕は、箱根駅伝で走って成果を出すという目標を持って、この國學院大學に入学しました。今3年生なので、この4月に4年生になります。箱根駅伝は来年で最後のチャンスになりますが、目標を達成できるよう、努力したいです。

徳備：僕も、まだ箱根駅伝に出場したことがないので、3年生になる今年はずっとがむしゃらに頑張りたいと思っています。

木付：卒業していく先輩方から、練習面でも生活面でも見習える部分は見習い、しっかりと僕たちから後輩たちに襷をつなげられるよう、頑張っていきたいと思っています。

殿地：箱根駅伝に出場したことで、いろいろな方に応援をいただいている、ということに身にしみて感じました。今年はもっと高い目標に向かって頑張りたいと思っています。春には2年生になって後輩もできるので、先輩としての意識もしっかりと持ちたいです。

前田：この10年間の私の最大の使命は、國學院大學を箱根駅伝の常連校にするということでした。まずはその目標を達成することができたと思うので、今度は強豪校を目指してさらなる一歩を踏み出し、歴史の第二章をつくっていきたくと思っています。部員の8割は、箱根駅伝に出られずに卒業していく厳しい世界です。そんな学生たちの想いもつないでいながら、引き続きチーム全員で力を合わせて頑張っていきたいですね。

國學院大學陸上競技部の皆さんへのインタビューは3月5・12日に「渋谷の星」で放送します。

問広報コミュニケーション課広報聴係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しづや区ニュース (10分間) 月~木 11:00/16:00/21:50 「しづや区ニュース」の情報を発信します。	渋谷の星 (45分間) 火 11:10 渋谷区で活躍する人たちが登場します。	渋谷のくらし (30分間) 火 16:20 地域の催しなどの様子を伝えます。	ラジオ しづや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間) 金 11:00/17:00/19:50 長谷部健 渋谷区長が出演します(ラジオしづや区ニュースの内容になる場合があります)。
--	--	--	---

しづや区 × 渋谷 とは？

「しづや区ニュース」では毎月、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しづや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

周波数：  
87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876  
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/